神戸市外大だより

VOL.223 Winter

第12回 全国大学生マーケティング・コンテスト（MCJ）決勝大会報告
～外大チームが４年ぶりに入賞～

2023年12月9日（土曜）に大学生がマーケティングプランを英語で発表し競い合う「第12回全国大学生マーケティング・コンテスト（MCJ：Marketing Competition Japan）」の決勝大会を株式会社エコロギー（ecologgie Inc.）のご協力のもと、神戸市外国語大学で開催しました。本学はこの大会を通して、参加学生の分析力、思考力、想像力、企画力、発信力、英語プレゼン力の向上を図るとともに、ビジネス課題の解決に実践的に取り組むことによって社会への貢献を目指しています。

【4年ぶりに本学出場チームが入賞！】

第12回目を迎える今年の大会は、「日本とASEAN市場における昆虫食（コオロギ食）の普及・売上拡大～循環的・持続的な食糧供給への挑戦～」という極めて難しいテーマであったにも関わらず、9大学21チームから応募がありました。

書類と動画による予選を行い、関西大学、神戸市外国語大学、神戸大学、専修大学、東京経済大学、法政大学の6大学から8チームが通過しました。決勝大会当日は、辞退した神戸大学を除く5大学７チームが集い、世界で注目されている「昆虫食」を題材とし、さらなる製品ラインアップの充実とコオロギ食文化の普及に向けた、斬新で意欲的なプレゼンテーションを繰り広げました。

優勝は法政大学の「Coro-Chan」、2位は神戸市外国語大学の「Game Changers」、3位に関西大学の「Quello di Quello」が入賞しました。

神戸市外国語大学出場チーム

「Game Changers」

「Maple Trinity」

＼ インタビュー ／

Q1. 2位入賞となった感想をお願いします。

小野さん　練習通り発表したら入賞できると信じていたので、緊張せずにチーム全員でやり切りました。

大日向さん　正直に言うと2位という結果は悔しくて、自分の発表で悔いが残る部分があります。来年の出場に向けて頑張ります。

池田さん　発表がスムーズに進み、自分たちの案がはっきりと伝えられたなと発表後に感じていたので、優勝できるかなと思っていたのですが、2位という結果で悔しかったです。評価してもらえたという意味では嬉しかったです。

妹岡さん　準備をたくさんして自信を持って挑むことができたので、2位という結果が悔しいというのもあるけれど、自分たちの努力が目に見える結果になって嬉しかったです。

Q2. 決勝大会に向けてどのように準備してきましたか？

妹岡さん　チームで集まって話し合いを重ねてきましたが、学年がばらばらなこともあり、それぞれが授業や就活などで忙しく予定が合わず、各自で持ち帰って作業をすることも多くありました。

池田さん　週に3回のペースで集まったり、大会直前は発表の様子を動画撮影し、それを見返して改善点などを試行錯誤したりしていました。

Q3. この経験を踏まえて、今後挑戦してみたいことは何かありますか？

大日向さん　決勝大会後の懇親会で、審査員の方から他のビジネスコンテストの存在について伺いました。将来起業したいという気持ちがあるので、MCJに限らずその夢を実現させられるよう様々なコンテストに参加しようと思います。

小野さん　自分がチームリーダーを担当していて、メンバーに無理を言うこともありました。厳しい期限を設定したり、唐突な和訳の依頼など…それでも僕についてきてくれて、このメンバーだから獲得できた2位だと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。改めてチームワークの重要性を再確認しました。

◀2 位入賞の Game Changers
（神戸市外国語大学）

左から
妹岡奈々海さん(英米学科 1年生)
大日向佑月さん(英米学科 1年生)
池田紗希子さん(国際関係学科 3年生)
小野公由樹さん(英米学科 4年生)

本大会の模様は、
MCJ 公式 YouTube チャンネルにて
公開中です。

CONTENTS

01.MCJ 決勝大会開催報告
02-03. 語劇祭開催報告／学生支援班からのお知らせ
04. 模擬国連派遣報告／学園まちピカ大作戦
05. おしごと図鑑
06. 講演会開催報告／魅力発信事業開催報告／出版物紹介

開催報告

2023年度 第73回語劇祭

第73回語劇祭を、11月11日（土曜）12日（日曜）にリニューアルされた新開地アートひろばで開催しました。今回はコロナ禍以降4年ぶりに、入場制限や上演に関する制限のない本格的な語劇祭の復活となり、当日は各語劇団が日々の練習の成果を発揮し、観客を魅了しました。

語劇祭　受賞者・受賞団一覧　※敬称略

- 最優秀劇団賞 …… イスパニア語劇団
- 優秀劇団賞 …… ロシア語劇団
- 最優秀主演役者賞 …… リカルド役 水野風汰（イスパニア語劇団）
- 優秀主演役者賞 …… 老四役 水野木々音（中国語劇団）
- 最優秀助演役者賞 …… ボールキン役 両川唯人（ロシア語劇団）
- 優秀助演役者賞 …… the Queen 役 川本梨緒（英米・第二部英米合同語劇団）
- 最優秀若葉賞 …… 幽霊役 佐々木陸磨（イスパニア語劇団）
- 優秀若葉賞 …… シレナ役 山田紅葉（イスパニア語劇団）
- 音響賞 …… 中国語劇団
- 照明賞 …… 英米・第二部英米合同語劇団
- 舞台美術賞 …… ロシア語劇団
- 衣装メイク賞 …… 英米・第二部英米合同語劇団
- 字幕賞 …… イスパニア語劇団
- ベストキャラクター賞
  - ロシア語劇団 …… イワーノフ役 阿部友紀
  - イスパニア語劇団 …… 幽霊役 佐々木陸磨
  - 英米・第二部英米合同語劇団 …… the Queen 役 川本梨緒
  - 中国語劇団 …… 老四役 水野木々音
- 観客賞 …… 英米・第二部英米合同語劇団

インタビュー

最優秀劇団賞

イスパニア語劇団

字幕を作るうえで意識したことは、観客は短い時間で文字を読まなければならないため、長くなりすぎないよう、正確な訳にこだわらず、読みやすく伝わりやすい訳作りを意識しました。役者の台詞が長いシーンは短くまとめることが難しかったです。

活動の中でしんどいことも多かったですが、そのおかげで人として社会的にも、また外大生として語学的にも成長できました。また、本番にお客さんがいるホールで上演することで強く達成感を感じられることが語劇の魅力だと思います。

大澤秀弥さん
（イスパニア学科2年生 / 字幕）

山田紅葉さん
（イスパニア学科1年生 / 役者）

夏から始まった練習期間を振り返り、ようやく終わったなと、本番が一番上手くできたので、やり切ったという気持ちが強いです。スペイン語で劇をすることは絶対無理だと思っていましたが、いざ本番まで練習を重ねてみて、やればできるんだなと思いました。

苦労したことは、スペイン語の発音です。先輩方やOBの方、大学の先生方にも練習を見てもらいましたが、それでもなかなか上手くいかないことが多かったことです。また、演技では、頭にある自分のしたい動きを実際に形にすることが難しく、その表現にも苦労しました。

優秀劇団賞

役を演じるうえで、相手の台詞を受けて返すことや間のとり方（使い方）など、ただの台本の暗記ではなく、「劇づくり」ということを意識するのが難しかったです。

役者という全く未経験の世界で、自分なりに頑張って演技をしていて、「いい演技するね」と先輩から褒めてもらえるとモチベーションが上がり、良い意味で調子が乗ってくるという瞬間が印象的でした。

本間杏之輔さん
（ロシア学科2年生 / 役者）

ロシア語劇団

阿部友紀さん
（ロシア学科４年生 / 監督兼役者）

監督と役者の兼務が大変でしたが、みんなも頑張っているから自分も監督と役者の兼務でもやれると思い引き受けました。劇団員の人数が少なかったのですが、１年生や途中参加のメンバーが多く入ってくれたので、なんとかやりきることができました。

2週連続でリハーサルを行った時、台詞を覚えきれていない中でも1回目よりも2回目の方が格段に良くなっており、「みんな確実にできるようになっている」と実感したことが印象に残っています。心配な部分もありつつ、絶対に本番も大丈夫だなと思うきっかけになりました。

英米・第二部英米合同語劇団

澤井佳佑さん
（英米学科3年生/監督兼役者）

今回は初めて監督を経験しました。今まで2回役者の経験がありましたが、今年は劇団全体を見ないといけなかったので、団員の管理はやはり大変だなと率直に思いました。

監督として、責任感を持って動かないといけなかったので、今はやり切った達成感と開放感があります。役者としては、さみしい気持ちもありますが、23人全員で劇を成功させることができてよかったです。

笹川心春さん
（英米学科2年生/役者）

演じる上で気を付けたことは、感情が出やすく思っていることを正直に話すキャラクターだったので、表情をコロコロ変えることを意識しました。

今は終わってほっとしている反面、さみしさの方が勝っています。練習期間が充実していて楽しかった分、心にぽっかり穴が空いた感じですが、とてもいい経験ができたなと実感しています。

中国語劇団

柴田征洋さん
（ロシア学科2年生/演出（役者代役））

演出特有の仕事としては台本の解釈などがあったことの他、役者の4人中3人が1年生だったり、自身の舞台経験も浅く把握する内容が多かったことが大変でした。

私はロシア学科所属ですが、アジアの文化が好きで興味があり、自分で中国語を勉強するプラス、中国語を話したりする機会を作ろうと思い、中国語劇にチャレンジしました。

大原宇良さん・太田瞳さん
（中国学科2年生/音響）

練習期間も含めて、本番を無事終えられた今日が一番印象に残っています！

大変な時も諦めずに続けてくれたみんなと協力して良い劇が作れてよかったです。ありがとうございました！（大原）

リハーサルで中々仕上がらずピリピリした時もあったけど、最後はいい感じにまとまって良い評価もいただけて嬉しかったです。みんなで本当によく頑張りました！（太田）

学生支援班からのお知らせ

2023年度 学位記授与式・卒業式

3月25日（月曜）
10時30分～（受付開始：10時）
場所：神戸市外国語大学　大ホール
※例年より30分遅い開始となっております。
※ご同伴の方は、第2学舎で中継をご覧ください。

2023年度 卒業記念パーティ

3月25日（月曜）
14時～（受付開始：13時30分）
場所：神戸 西神オリエンタルホテル
神戸市西区糀台5丁目6-3
TEL 078-992-8111
（神戸市営地下鉄　西神中央駅下車　徒歩約1分）
参加費：同窓会・伸興会加入の卒業生・修了生および伸興会加入の保護者の方は無料

2024年度 伸興会総会

4月5日（金曜）
11時頃～（入学式終了後）
場所：神戸市外国語大学　大ホール
※伸興会会員の皆様のご出席をお待ちしております。

開催報告

模擬国連世界大会

ドイツ模擬国連世界大会（NMUN）で２つの賞を獲得！

National Model United Nations ウェブサイト（英語）

11月19日（日曜）～ 11月24日（金曜）にドイツ・エアフルトで開催された「模擬国連世界大会（National Model United Nations）」へ学生10名と教員4名を派遣しました。

大会においては、トルコ代表団及びブラジル代表団として参加した本学の両代表団がともに最優秀代表団賞（Outstanding Delegations Award）を受賞し、また、国連環境総会を担当した本学の2名の大使が最優秀代表団員賞（Outstanding Delegates in Committee Award）を受賞するという、非常に大きな成果を収めました。

参加学生の声

トルコ大使団長　岡本季武さん（国際関係学科　4年生）

準備期間の4ヶ月間とドイツに滞在した2週間、大変密度の濃い時間を大使団、メンター、教授陣とともに過ごすことが出来ました。その中で周りの人々のいろんな側面を知ることができ、仲間の存在にとても支えられました。トルコ大使団長を務めるにあたって、もう1人のブラジル大使団長とよく話していたのが、仲がいいだけのコミュニティにしたくないということでした。その点を特に意識して、模擬国連に関する授業や授業外での活動など含め、入念に準備を行ってきました。大会では、トルコとブラジルの両大使団が最優秀代表団賞という上位約５％のみが受賞できる賞を獲得することができ、今大会に参加して、コミュニティのより良いあり方、作り方について学ぶことができました。

神戸市外国語大学では、毎年、模擬国連世界大会（NMUN）及び日本大学英語模擬国連大会（JUEMUN）に学生を派遣しています。全学科の学生が応募可能です。募集開始時には外大パスで告知しますので、ぜひ積極的にチャレンジしてください。

ボランティアコーナー

＼4年ぶりに復活！／ 第5回 学園まちピカ大作戦開催！

賞品を狙って、普段のゴミ拾いとは気合の入り方が違います！

拾ったごみの総重量はなんと！237.7 kg！

ボランティアコーナー学生スタッフが、子どもたちにゴミ削減のための啓発クイズを実施

市内の小学校から、ALT※の先生たちも参戦！

まちピカ大作戦は、ゴミ拾いを競技にすることで、子どもも大人も楽しくエキサイティングに町をきれいにできるイベントです。

外大ボランティアコーナーが、学園都市エリアの地域団体と共催したこのイベントに、23チーム　95名が参加し、運営ボランティアスタッフも含めて合計133名が集いました。

ボラコ学生スタッフより

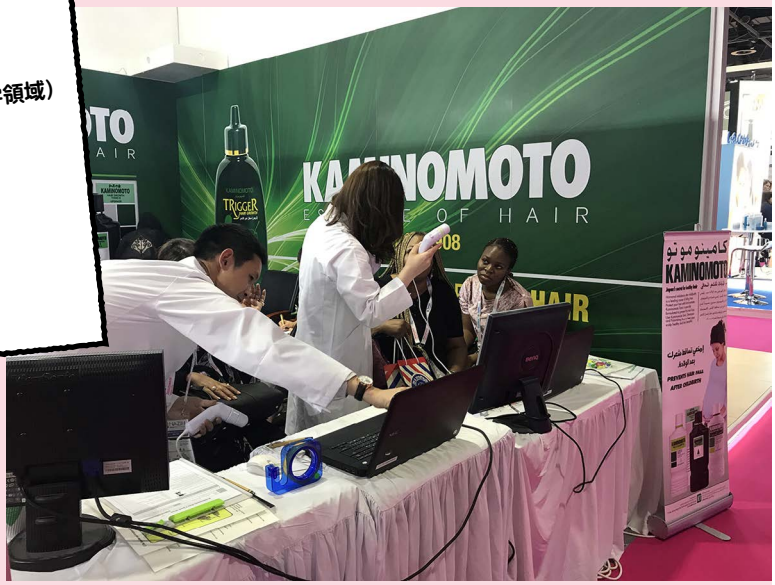
道端に落ちている吸い殻やペットボトルなど、普段は気づかないようなごみに目を向けるきっかけになりました。

4年ぶりの開催で、前回を経験していない学生がほとんどだったのでドキドキでしたが、スムーズに運営できてよかったです！

※ALT…Assistant Language Teacher（外国語指導助手）

おしごと図鑑

|名　前| I・C　さん
|学　科| 大学院 英語学専攻（通訳翻訳学領域）
|卒業年月| 2022年
|企業名| 株式会社加美乃素本舗
|勤続年数| 2年目（2022年4月入社）
|仕事内容| 化粧品の海外営業・貿易



▲UAEの展示会に先輩たちが参加されたときの写真です。わたしもいつか行ってみたい！

■現在の状況

2022年4月に新卒で入社し、現在2年目です。海外代理店と連携を取りながら、化粧品・医薬部外品を世界各地に輸出しています。船や航空便の手配、各国法規制の対応、新商品の紹介など、業務はとても幅広く、今まであまり関心を向けてこなかった分野に触れる機会がたくさんあります。化粧品の成分にも詳しくなりました！仕事で悩むこともももちろんありますが、一緒に考えてくださるやさしい先輩ばかりで、毎日楽しく働いています。

■社会人になって感じたこと

学生時代は、社会人になることがすごく怖い時期がありました。しかし、ふたを開けてみると、新しいことをたくさん勉強しながら自立した生活を送ることができ、とても充実しています。海外販売部の業務内容はとても幅広く、新しく挑戦できることが尽きないので、会社のためにも自分のためにも知識を蓄えていきたいです。

■大学生活を振り返って

勉強、部活、仕事など、いろいろなことに取り組んだ100点満点の6年間でした。キャリアサポートセンターのみなさんには卒業間近までお世話になってしまったのですが、面接の練習など親身になってくださり、とてもあたたかい思い出として残っています。

■就職活動時の印象に残った出来事

面接で遠方に行くたびに、各地で会ってくれる友人たちがいたことです。周りの友人が社会人になり会う機会が減っていたのですが、忙しい中食事に誘ってくれたり、就活の悩みを聞いてくれたりと、とても心強かったです。今後も人とのつながりを大切にしていきたいと思います。

■後輩へのエール

仕事や趣味など何でもよいので、卒業してからも自分らしく過ごせるような軸を探してみてください。

▲新商品のボタニカルシャンプー・トリートメントです。世界中での販売を目指し、取り組んでいます。

ある日のスケジュール

9:00	出社 メールチェック	海外代理店や国際物流会社とのやりとりが中心です。個人のお客さまからお問い合わせがあれば、お客さま相談室と連携しながら対応します。
10:00	工場と打ち合わせ	輸出品は受注生産です。販売する国・地域によって製品仕様が細かく分かれているので、確認事項がたくさんあります。
11:00	出荷書類の作成 船や航空便の手配	船や航空便での輸出に必要な書類を作成します。国・地域によって求められる書類もさまざまです。
13:00	お昼休み	同期社員と食堂でおしゃべりをしながらの昼食はリラックスできる時間です。
14:00	資料作成	今は主力商品の紹介資料を作成しています。神戸市外大で学んだ翻訳を活かすことができ、やりがいを感じます。
15:00	国際物流会社と商談	営業担当の方が来社され、出荷の相談に乗ってくださいます。世界情勢について最新情報も入手できます。
	海外代理店と商談	商品の提案はもちろん、化粧品規制の情報収集や模倣品の対策などさまざまな分野について話し合います。
17:20	退勤	

会社紹介

加美乃素本舗は、1908年に神戸市で創業しました。1932年、世界に先駆けて養毛・毛生剤＜加美乃素＞を発売し92年目を迎えます。「美と健康に奉仕する」を社是に掲げ、化粧品や医薬部外品において安心・安全の商品開発を心がけながら、日々モノづくりに取り組んでいます。育毛剤に加え、スキンケア製品やまつ毛美容液なども製造しています。製品はすべてメイドインジャパン。神戸から日本全国、そして世界に製品を届けています！

講演会開催報告

10/16(月曜)開催 「QUÉ SERÁ, SERÁ ～城田優さんと考えるSDGs～」@本学大ホール

学生団体「KCUFSプラス」が企画・運営を行い、当日は約350名の外大生が講演会に参加しました！城田さんの様々な経験をお聞きし、SDGsや多様性と改めて向き合う機会となっただけでなく、今後の進路や将来に悩む学生たちの背中を押してくれる講演会となりました。

講演会映像は
こちらから

11/18(土曜)開催 「外の世界へハミ出し、新たな自分へ」@ANCHOR KOBE

HaMiDaSu特設サイト掲載中の本学卒業生2名(2016年度国際関係学科卒業・延岡由規さん、2020年度英米学科卒業・浅井安奈さん)をお招きし、在学中のアフリカやアジアでの様々な活動の経験から、現在のお仕事のことまで様々なテーマについてお話いただきました！参加した高校生・外大生は熱心にお2人の話に耳を傾けていました。

講演会映像は
こちらから

HaMiDaSu
特設サイトは
こちらから

2023年度　魅力発信事業講演会　開催報告

「いま伝えたい、ことばの力ーコミュニケーション力を磨くー」

外国語を学ぶにあたって、語学力だけでは不十分、コミュニケーション能力が必要と言われています。真の「コミュニケーション」とは何か、文章を書くこと、肉声で伝えること、本が担う役割とは、といった観点から、「ことばの力」をさぐっていきます。

【第１回】「本当はこう言いたかった」と思えるために／大西 寿男 氏（校正者）
【第２回】今、身につけたい言葉の力／山根 基世 氏（アナウンサー）
【第３回】「これからの本屋」を考える～新たな読者を創出するためのコミュニケーション～
／北田 博充 氏（蔦屋書店梅田店店長）
【第４回】古い本からのメッセージ～時代を超えた情報を読み解き伝えること～
／指 昭博 氏（歴史家・神戸市外国語大学前学長）
⇒※講演会動画は後日公開

当日の講演会の様子は
こちらから

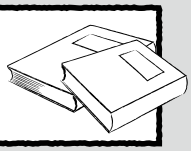
「イン・ザ・メイキングー翻訳・創作の出来るまでー」

講師：柴田 元幸 客員教授、きたむらさとし 客員教授

翻訳・創作の表も裏も知り尽くしたお2人に、読んでわかりやすい翻訳、見て楽しい絵本が世に出るまでのプロセスについてお話しいただきました。

当日の講演会の様子は
こちらから

本学教員の出版物紹介



| 教員名 | 山本 昭宏 准教授（総合文化グループ）
| 書　名 | フライボーイ２：ブラック・ミュージック文化論集
| 出版社 | Pヴァイン
| 出版年 | 2023.6
| 種　別 | 共訳

| 教員名 | 安喰 勇平 講師（総合文化グループ）
| 書　名 | レヴィナスと教育学
| 出版社 | 春風社
| 出版年 | 2022.2
| 種　別 | 単著

| 教員名 | 安喰 勇平 講師（総合文化グループ）
| 書　名 | レヴィナス読本
| 出版社 | 法政大学出版局
| 出版年 | 2022.9
| 種　別 | 共著

| 教員名 | 後 友香 講師（国際関係学科）
| 書　名 | レクチャー国際取引法
| 出版社 | 法律文化社
| 出版年 | 2022.10
| 種　別 | 共著